

第3号様式

令和6年度 第2回東部公民館運営審議会会議録

(令和6年8月 作成)

- 1 開催日時 令和6年6月27日(木) 午後3時22分～午後5時9分
- 2 開催場所 中央公民館 体育レクリエーション室
- 3 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、加瀬委員、吉田委員、牧野委員、本間委員、蠣崎委員、今井委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
 - (1) 委員 舟橋副委員長
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
 - 公開 (1) 令和6年度 公民館事業報告(4月1日～6月26日)について
 - (2) 令和6年度 公民館事業計画(6月27日～9月25日)について
 - 非公開 (3) 社会教育関係団体の拠点変更(報告)について

※非公開理由 船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
 - 公開 (1) 令和6年度 公民館事業報告(4月1日～6月26日)について
 - (2) 令和6年度 公民館事業計画(6月27日～9月25日)について
 - 非公開 (3) 社会教育関係団体の拠点変更(報告)について
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和6年9月26日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和6年度 第2回 東部公民館運営審議会

議事録

日	時	令和6年6月27日(木)
		午後3時22分～5時9分
会	場	中央公民館 4階 体育レクリエーション室

午後3時22分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

それでは、ただいまより、令和6年度第2回東部公民館運営審議会を開催します。

会議に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。事前にお送りさせていただきました令和6年度第2回東部公民館運営審議会のクリーム色の冊子、机の上に置かせていただきましたもの、1つ目が、社会教育関係団体の拠点変更届、飯山満公民館分です。2つ目が、令和5年度家庭教育セミナーのまとめの冊子、3つ目が「まなびの風 第77号」、4つ目が、「集い 学び つながる」になります。不足等ございましたらお声かけをお願いいたします。

よろしければ、大塚委員長、ご挨拶をお願いいたします。

○大塚委員長

皆さん、こんにちは。年5回ということで、2～3か月ごとにこの会議を開かせていただいていますけれども、冬から春になり、梅雨時ですので、ぜひご体調には十分にお気をつけていただきたいと思います。

挨拶ということではないのですが、日本国で公民館法ができたのは昭和21年ということで、中身についてはいろいろと入っているのをご存じだと思うし、最近一番新しいのは、平成15年度に改正があって、現在に合わせた公民館条例ということになっていると思います。

ただ、基本的に変わらないのは、それぞれの市町村の皆さん、老若男女全ての方に、教育やふれあい、そういうことを市町村が中心になって、市民の方々が住んでいるまちで自由に和気あいあいと楽しい生活をしながら意思をつないでほしいという希望があると思います。言うは易し行うは難しいですが、それにしても、市として公民館の皆さんが、年間にして数百という事業を行っていることの実態はあるわけですので。

公民館事業のうち、青少年対象の事業についての総括として実績報告書がありますが、それには、実施内容や事業評価についてABCなど、いろいろな内容が書かれています。読み込んでいくとなかなか難しいところがありますが、一生懸命皆さんがお努めしていることを、私始め委員の皆さんは評価されていると思います。市民のためにぜひ皆さんのお力を借りて、本当に学んでよかった、実施してよかった、というような公民館活動にしたいと思いますので、今後ともひとつよろしくをお願いいたします。

挨拶を終わります。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。

ただいまから令和6年度第2回東部公民館運営審議会を開催いたします。今回は、舟橋副委員長より欠席のご連絡をいただいています。現在、委員8名のうち、7名の方に

ご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立しております。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

本日は、運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきまして、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。大塚委員長、議事進行をお願いいたします。

○大塚委員長

それでは、第 2 回東部公民館運営審議会を進行させていただきます。

東部公民館事業報告、4 月 1 日から 6 月 26 日についての説明をお願いいたします。

それでは、東部公民館長さんから順次説明をお願いいたします。委員の皆さんのご意見は、全公民館からご説明を受けてからいつものとおり頂戴いたしますので、よろしくをお願いします。

では、東部公民館さん、お願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館の 4 月 1 日から 6 月 26 日までの事業について報告させていただきます。

説明に入る前に、前回お話をいただきました東部公民館の事業の実施場所につきまして、今回の資料より、この表中に会場名を入れさせていただきましたので、まずは報告させていただきます。

それでは、まず初めに青少年事業から、「ハッピーサタデー事業」につきまして報告いたします。5 月には、「マジックをマスターしよう!」、6 月には、「軽スポーツフェア」ということで開催いたしまして、会場はどちらも前原児童ホームで開催したものです。

「マジックをマスターしよう!」につきましては、中央公民館で活動しております千葉マジックサークルの方々を講師にお招きして開催いたしました。参加した子供たち 4 つのグループに分かれまして、各テーブルで講師によるトランプとかロープとかコインを使ってのマジックを披露しました。子供たちは全員身を乗り出して、真剣なまなざしで手元を見つめる様子でございました。また、輪ゴムの手品ですけれども、子供たちにも簡単にできるものを指導して下さって、児童ホームに遊びに来ていた親子も一緒に参加して楽しく行うことができました。

輪ゴムでの手品でございますが、こんな感じでした。輪ゴムがあります。輪ゴムを人差し指と中指に入れて二重にするんですね。この輪ゴムが一瞬にして移るんだそうです。どうやって移るかという、こうなっていますよね、これでぱっぱっとやるとこっちに移る。これを子供たちがマスターして、大変喜んでいました。きっと家に帰ってマジックをされたのかなと思います。指導していただいて本当に楽しい事業だったと、報告を

受けているところでございます。

次の6月22日に開催いたしました「軽スポーツフェア」につきましては、前原地区のスポーツ推進委員会のご協力をいただき、雪合戦、豆運び、輪投げ、ペットボトルダーツなどの遊びのコーナーを設けて開催したところでございます。特に雪合戦は子供たちに人気がありまして、何回も何回もチャレンジする子供たちで行列ができたぐらいです。全種目とも低学年でも参加しやすい遊びのコーナーだったものですから、高学年、低学年、いっしょに楽しく遊んでいたという状況です。人数は、軽スポーツが113名の参加をもって開催したものでございます。

続きまして、「子ども日本語教室」についてですが、国際交流課との共催事業により、5月は3回、6月は4回です。会場は共に民間の施設を借りての開催でございまして、6月8日が15名、15日は17名、22日は15名の参加をもって開催したところでございます。

続きまして、成人事業でございます。「心も体も喜ぶ健康体操教室」につきましては、前原地区社会福祉協議会のご協力をいただきながら開催しているものでございまして、前原小学校のほかに中野木小学校の体育館をお借りして、月2回ずつの開催しているものでございます。6月16日は41名の参加、6月23日は24名の参加でございました。両小学校にご協力いただいております、体育館をお借りして月2回ずつの開催を行ったものでございます。

続きまして、「家庭教育セミナー『モンテッソーリたんぽぽ子供の家父母会家庭教育セミナー』」についてでございます。これは、前原地区にございます保育施設、モンテッソーリたんぽぽ子供の家との共催事業として実施するもので、この家庭教育セミナーは、今年度で3年目を迎えるものでございます。今年度も昨年度と同様、全3回の講座を予定しております、1回目の6月22日には、船橋漁港で「漁師さんと親子と一緒に魚&船&お魚体験」として実施したものでございます。

恵み豊かな東京湾に面する船橋の漁港で、当日、地元の漁師さんを講師にお招きしまして、漁船の仕組みや、漁の方法、漁船から水揚げする作業方法、水揚げから豊洲市場まで運搬する流れについての説明をいただいたところでございます。また、実際に日本一の収穫量を誇るスズキのさばき方を実演したり、クロダイやイシモチ、フグ、アカエイなど船橋港で水揚げされた魚を子供たちが手に取りながら、「かわいいね」と言って触れ合いました。農水産課の職員にも来ていただきまして、船橋の海苔の収穫等についての説明もいただき、船橋の海から獲れる魚たちに触れ合いながら楽しんだものでございます。

最後に、参加者した子供たちや親から漁に関する様々な質問が寄せられ、ふだんなかなか訪れることがない漁港での体験は、子供たちにとって新鮮であり、貴重な経験が得られたものと思っております。当日は大変よい天気でありまして、参加人数88名とい

うことで実施したものでございます。

次に、高齢者事業でございます。「シニアのための応援セミナー」でございますが、これは第一線から仕事を離れ、これからの人生を安心してより充実した生活を送るための応援セミナーとして、前原地区の生涯学習コーディネーターのご協力をいただきながら開催したものでございます。

1回目、5月22日は、薬円台公園でモルックを楽しみながら参加者の交流を図ったものでございます。当日、天気も大変恵まれまして、薬円台公園の新緑に囲まれた中で、9名の参加者はモルックのルールやゲーム方法について指導いただいた後、ゲームを楽しみながら参加者同士の交流を図ったものでございます。

2回目、「太宰治『船橋ゆかりの地を歩こう!』」につきましては、5月29日と6月5日の2回にわたり、太宰治のゆかりの地を巡り、太宰治が船橋のまちに残した足跡の解説をいただきながらたどったものでございます。2回ともに大変天気に恵まれまして、講師の解説を聞き、当時の様子に思いを浮かべせながら歩いてきたところでございます。

続きまして、「東老連支援事業」についてでございますが、東部地区の老人クラブの連合会の「グラウンドゴルフ大会」については、雨のため中止でございました。6月の「囲碁・将棋大会」につきましては、あいにく雨も重なったことから、参加人数は少ない18名ということではございましたが、熱い対局が繰り広げられました。

次の「東老協支援事業」、これは東部公民館区の老人クラブ連絡協議会との共催事業として「グラウンドゴルフ大会」、これもまた雨で中止となってしまいました。また、次の「芸能交流会・カラオケ大会」についても、参加人数が集まらなかったことで中止となったものでございました。

最後にその他でございます。今年度も子育て支援事業として、「子育てサロン『アイアイ』」、次のページの「ランラン」、「おしゃべり広場」を、親子交流講座として開催したところでございます。

前原児童ホームが会場となっておりますけれども、私もそこに伺って、お母さんたちが交流しているところに入ってみました。お母さんたちがいくつかのグループに分かれて、車座になって子供を抱っこしながらおしゃべりを楽しんでいた光景がございまして、それがとても印象的でした。お母さんたちにとって、集まる場所であったり、おしゃべりをとおして過ごす時間というのは、様々な情報の交換をできる機会につながっているなと感じたところでございまして、非常に有意義な時間を過ごしていただいているなと思ったところでございます。

次のページの「スプリングコンサート」につきましては、「ハーブコンサート」を実施いたしまして、ハーブの音色に親子で接しながら、トトロの歌や、「クラリネットをこわしちゃった」、「朧月夜」をとおして、音楽のすばらしさを体感できたものと思います。

最後に、「1日の疲れをリフレッシュ～オンラインでリラックスヨガ～」についてでございます。この事業につきましては、新規事業として開催するもので、オンライン講座として、夜間の7時から8時に開催することで、若い世代、または仕事が終わってからの方の参加を期待する中で開催したところです。機器の大きなトラブルもなく、皆さん受講していただきました。

参加された方々から感想が寄せられましたので、何点かお伝えしたいと思います。「昼間は仕事があり、なかなか参加できないことと、夜は子供がいるため外出できないこともあり、オンラインに参加できてとてもよかったです。リラックスして受講することができ有意義でした」、「行き帰りの時間が省けて、自宅で気軽に参加できてよかったです」、「夜の外出は億劫に感じていたので、家にいながら公民館活動に参加できることに魅力を感じたので参加しました」、「仕事をして、家族もいて、どこかに行つてのサークルは難しかったので、今回のようなオンラインでやってくれてよかったです」、「ヨガをやるのは初めてだったのですが、その日はゆっくりぐっすり眠れました」、などの感想が寄せられました。講師の大変丁寧なご指導により、大変好評をいただきましたので、また来年の開催の検討を進めていきたいと考えているところでございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、三田公民館さん、お願いします。

○三田公民館長

三田公民館が4月1日から6月26日までに実施した事業についてご報告いたします。

まず、青少年の「ハッピーサタデー事業」でございます。「子どもフラワーアレンジメント教室～季節を楽しむ春のアレンジ～」では、カーネーションをメインにした季節の花で犬のプードルをつくりました。共催の三田習地区青少年相談員の皆様が子供たちのサポートをしてくださいました。

次の「遊びながら楽しく学ぼう！」は、日本ボーイスカウト船橋第9団が講師となりまして、ロープワークを行いました。いろいろな結び方を学んだり、ロープを使ってチームでペットボトルを移動させるというゲームでは、子供たちがお互いに声をかけ合って早く運べるように工夫する姿が見られました。

次の「軽スポーツで楽しく遊ぼう！」は、三田習地区スポーツ推進委員会が講師となり、オリジナルゲームのダレッチボールというものを行いました。ダレッチボールは、バランスボールのような大きな柔らかいボールを転がして、相手の陣地の妨害をすり抜けて、ボールが相手陣地の外側まで到達したら得点が入るというゲームです。スポーツ推進委員会のオリジナルということで、誰も知らないゲームでした。参加した子供たち

は、ルールを把握しますと、チームでどこにボールを転がしたら効率的にゴールができるか考えながらゴールをねらいまして、時間いっぱいまで盛り上がっておりました。

続きまして、成人事業でございます。「社会教育関係団体説明会」を行いました。新年度で新しい役員になられている団体も多いので、施設予約システムや社会教育関係団体活動報告書の記入方法を中心に説明いたしました。31 団体中 30 団体、38 名が参加いたしました。

次の「三田セミナー 前期 房総・船橋そして世界へ」は、生涯学習コーディネーターとの協働事業となっております。地域の住民の交流を図りながら、毎日の暮らしを豊かに健康に過ごすことを目的とした事業です。1 回目は、講師に街歩きネットワークの今井利明氏をお迎えしまして、田喜野井地域についての講義を 30 分した後、三田公民館から約 4 キロのコースを散策いたしました。近隣の神社やお寺、道祖神などを巡りまして、参加者の方からは、「地元の知らない場所を歩けた」などの声が聞かれまして、大変好評でした。「次回はどこを散歩するの」、「また次回も参加したい」というお話をいただいております。

2 回目の「やさしい日本語で伝えよう」は NPO 法人 Y Y J ゆるくてやさしい日本語のなかまたちから講師をお迎えいたしました。参加人数が入っていませんので申し上げます。男性 2 名、女性 10 名の合計 12 名です。

やさしい日本語とは、外国人や小さなお子さんなど日本語に慣れていない方でも分かりやすい日本語、簡単な日本語で話すことで伝わりやすくしようというものですが、阪神・淡路大震災のときにテレビからの情報が外国人の方には難しく理解できず、どうしていいかわからなかったということがあったそうで、そのことがきっかけにもなりまして、やさしい日本語を使おうということになっているということでした。

この講座では、班に分かれまして、例題として出された文章をどう表現にしたら分かりやすい日本語にできるかということを考えて発表し合いました。いくつか例題を考えることで、相手を思ってやさしい気持ちで分かりやすい日本語で話すということを身につけるよい機会になったと思います。

次のページに移りまして、「はじめてのスクエアダンス教室」を一般社団法人日本スクエアダンス協会の実技指導者の方を講師にお招きしまして、全 3 回で講座を行いました。こちらは新規事業で、様式 5 の事業計画シートの 12 番に掲載しております。

スクエアダンスは、8 人が 1 つのチームとなりまして、コーラーと言われる指示を出す人の指示通りにダンスをするというマスゲームのようなダンスになっています。コーラーの方から指示を受けて的確に動くことで脳トレにもなるということで、高齢者の方にも大変好評なものとなっております。今回の講座は大変好評をいただき、講座終了後に会員 15 名のサークルが発足いたしまして、7 月から本格始動ということになっております。

次に高齢者対象事業でございます。「三田寿大学」は、5月9日に第1回を行いまして、入学式の後、映画を鑑賞していただきました。第2回は「知っているようで知らない?! 骨のあれこれ」と題しまして、東邦大学健康科学部看護学科の教員を講師に迎えて、骨の健康の大切さを教えていただきました。骨を維持する体操を交えて講義していただきまして、こちらも大変好評をいただきました。

続きまして、「シニアスマホ入門講座『スマホの基本的使い方』」です。こちらは評価の記載が間に合わずに空白となっておりますが、ホームページ掲載時には載せさせていただきます。スマートフォンの電源の入れ方から、持ち方、触り方など初歩から学ぶことができる講座となっております。「何度も聞かないと覚えられない」という参加者の方の声もありまして、リピーターの方もいらっしゃるような講座となっております。この講座を必要としている方はまだいらっしゃると感じましたので、続けていきたいと思いました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、三田公民館区老人クラブ連絡協議会の主催事業の「グラウンドゴルフ大会」につきましては、記載のとおり実施いたしました。

続きまして、「高齢者介護教室」は、前半に理学療法士による身体の仕組みの説明とストレッチを行いまして、後半は、三山・田喜野井地域包括支援センターの所長による介護保険の現状と三田習地区の介護の実態をお話しいただきました。こちらは27年続いている講座で、今までは定員以内に申し込みが収まっていたけれども、今回は定員を超えてたくさんのお問い合わせをいただきました。介護についてニーズが高まってきていると感じました。今回参加できなかった方にも次に参加していただけるように続けていきたいと思っております。

続きまして、その他の事業です。「土曜卓球開放」は記載のとおり、毎月第1土曜日に実施しております。

次のページの「おひさまクラブ」も記載のとおり実施いたしました。

続きまして、「地域の健康課題と対策」は、第1回目に東邦大学健康科学部看護学科の学生が三田公民館を拠点とするサークルの三田レクダンスの活動と一緒に参加しまして、交流を図りました。そのあと、学生からサークル会員の健康に関するインタビューを行いまして、翌週、第2回目では、学生からサークルの会員に向けて、この地域で健康に生きるために転倒しない体づくりの提案がありました。学生が作成したリーフレットは、サークル会員の方に配付したほか、公民館にも配架することで地域住民の方もご覧いただけるようになっております。

三田公民館の事業報告は以上となります。

○大塚委員長

それでは、続きまして、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の4月1日から6月26日までの事業報告をいたします。

まず、青少年事業ですが、「ハッピーサタデー事業」は、5月11日に習志野台地区スポーツ推進委員会による「軽スポーツも楽しもう」を行いました。今年度は講堂で開催できたので、講堂での開催となります。種目は輪投げとかダーツなどを実施いたしまして、小学生やその下の小さなお子さんと親子で楽しむ姿が見られました。

また、6月22日にボーイスカウト船橋第14団により「災害に備えよ！」を行いました。こちらは人数が入っておりませんので、記入をお願いいたします。男4名、女7名の計11名でございます。人数は少なかったのですが、ツナ缶でランプをつくったり、こちらに記載の新聞紙のスリッパ、その他のゲームなどを行って、みんなで災害について考える時間にする事ができたと考えております。

次に成人事業です。「家庭教育セミナー」の「赤ちゃんごきげんベビーマッサージ」を習志野台児童ホームとの共催、場所も習志野台児童ホームにて、月齢別各15組の定員で行いました。5月30日は、「ママリフレッシュ☆親子フィットネス」を開催いたしました。親子で体操を楽しみ、親子のコミュニケーションを図ることができたと考えております。

次の「社会教育関係団体説明会」でございますが、こちらは、45団体58名の出席により行いました。今年度、習志野台公民館は60団体ございますので、かなりの団体さんが出ていただいていると思います。公民館の使い方、社会教育関係団体の望ましいあり方、今年度の文化祭についてなどの説明をいたしました。評価については、記載のとおりでございます。

次のページに行きまして、「地域再発見講座」でございます。昨年度は雨のために散策ができずに座学形式での講義になってしまったのですが、今年は開催することができました。講師の習志野原ガイドボランティアさんの案内により、習志野台から坪井地区まで、自然や歴史を再発見する機会とすることができました。

次の「芸術鑑賞」でございますが、今年度は、東図書館と共催にて「落語会」を開催いたしました。図書館の勤務経験がある落語家さんの古今亭志ん松さんにお越しいただいて、落語会を開催いたしました。参加者も定員100名で非常に多く、地域に広く芸術、伝統芸能を提供することができたと考えております。評価に関しましては、記載のとおりです。

次の「デジタルデバイド対策事業」でございますが、こちらは記載のとおり、「スマホの基本操作とLINE体験を開催いたしました。

次の「大人の趣味講座『鉄道ジオラマを作ってNゲージを走らせよう』」は、記載のとおり、全2回開催いたしました。本事業は、昨年度より開催しておりますが、Nゲージのジオラマ製作は、今回は9名の参加、参加費は1人3,000円でございます。参加

者は多くはなく、成人事業なので対象は成人なのですが、親子一緒ということで小学生も受けました。小学生の親子から40代、50代の参加もありました。

また、次の「Nゲージ走行会」ですけれども、これは、今お話ししました「鉄道ジオラマを作ってNゲージを走らせよう」と一緒の開催で、2回の講座の後、26日（日）の午後1時から4時ということで、「Nゲージ走行会」を開催しております。こちらは、誰でも参加できる走行会としております。走行会自体には応募が12名ございました。線路を2車線作りまして、それぞれ1人20分の時間で、自分のNゲージを持ってきて走らせるということで、大人中心でございますが、小学生も含めて走行会を楽しみました。また、見学のみで自由参加もできましたので、見学者も多く、あらゆる年代が参加できる講座として、来年度も内容を調整しながら開催したいと考えております。

次、ページが変わりまして高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」を開催いたしました。初回は、講師と一緒にみんなで歌うコンサートといたしまして、参加者も楽しく過ごすことができました。2回目は、記載のように「交通安全・防犯講話」を東警察署などと一緒で開催いたしました。6月20日に人数が入っておりません。記入をお願いいたします。男12名、女67名の計79名です。「習志野台寿大学」は、定員を120名としておりますが、部屋の広さ的に200名程度までは入れられますので、初回の参加者127名でございます。160近くまで受け付けており、今回はお断りしている人はまだおりません。

次の「ハッピーサロン」でございます。こちら福祉団体フキのとうさんと毎年開催しております。人数等は記載のとおりでございます。

また、「ふなばしシルバーリハビリ体操」、次の「習老協支援事業」でございます。こちら記載のとおりでございますが、「習老協支援事業」については、初回の4月19日に近隣公園にて、「春季グラウンドゴルフ大会」を開催いたしました。当初は、4月17日の予定だったのですが、雨予報ということで、日にちを19日に移して開催しております。

次、ページをまたぐのですが、「介護予防教室」でございます。今年度は、株式会社第一興商さんをお願いして実施いたしました。こちら人数と評価が記載されておられません。評価といたしましては、ホームページのほうに記載させていただきます。歌や体操を取り入れ、楽しく認知症について学び、その予防を図る講座とすることができたと考えております。回数も4回の実施でございます。地域の認知症予防の一助とすることができたと思っております。

人数の記載が2段ございます。お願いいたします。6月19日は、男2名、女17名の計19名。6月26日は、男2名、女16名の計18名でございます。

最後にその他事業でございますが、「おもちゃの病院」、「将棋開放」、「卓球開放」、「子育てサロン」は、毎年の事業となっておりますが、記載のとおり開催いたしました。

この中の「将棋開放」でございますが、人数は少ないのですけれども、毎回、小学生が1名参加してくれていまして、講師の指導を受けながら、だんだん強くなるのではないかと楽しみにしております。こちらは大人の方がメインなので、皆さん将棋を楽しんでいらっしゃいました。

最後のページの「子育てサロン」でございますが、こちらは、地区社会福祉協議会との共催で開催しております。6月26日に人数が入っておりません。記入をお願いいたします。男5名、女13名の計18名でございます。

以上、習志野台公民館の事業報告を終わります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続いて、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業報告をさせていただきます。

「ハッピーサタデー事業」です。5月11日は、「くまちゃんのカップケーキ作り」をしました。本来なら生クリームでつくるところ、あんこを絞りつくりました。少しコツの要る絞り器の使い方を教わり、一絞りずつ丁寧に押し出し、熊の頭をつくり、プラスチックチョコレートで顔のパーツをつけると、いろいろな表情のくまちゃんが完成しました。母の日前日ということもあり、お母さんにプレゼントしたいという子もたくさんいて、大事に持って帰る姿が印象的でした。

次の「クラブ活動支援」ですが、こちらは新規事業になります。申し訳ありません、前回の計画でご説明しなければいけなかったのですが、漏れておりました。当館登録の吹き矢、ウクレレ、着付け、茶道の4つの社会教育関係団体に月に1回、年間7回、授業の中で行うクラブ活動の講師としてご協力いただきます。着付けと茶道は、一緒に伝統クラブとして、前半は着付け、後半は茶道を行います。吹き矢と茶道は当館で、ウクレレと着付けは小学校で行います。こちらは飯山満南小学校のご協力です。地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う地域学校共同活動になると思っております。

初回の6月を昨日実施しました。参加人数の記載をお願いいたします。男19人、女18人の合計37人でした。伝統クラブの着付けは、それぞれ持ち寄った浴衣の着方とともに畳み方を教わりました。今まで脱いだらおうちの方が畳んでくれて、畳んだことなどなかったと思いますが、一人一人丁寧に教わり、畳んで持ち帰りました。これからの夏祭りなどで、着るときに少しでも思い出してくれたらよいなと思っております。吹き矢クラブとウクレレクラブも楽しく教えてもらっておりました。

次に、成人対象事業です。「サークル体験講座 大人のやさしい英会話～コミュニケーション編～」と、その次の「旅行会話編」です。サークルの会員数を増やすことを目

的に、会員・講師全面協力のもと、2日間ずつ体験を行いました。参加者は、学生以来何十年ぶりに英語を学べるチャンスと思った方や、仕事で必要を感じて学び直しを目的に参加したという方など、学習意欲の高い方が多く、グループでの会話やカードゲームで盛り上がっておりました。コミュニケーション編のほうは、1名入会を決めた方がおり、旅行会話編のほうは、6名の方が通常のサークルの見学を申し込みされました。サークル、講師、公民館の3者が一体となって講座を成功させたという充実感が得られた講座となりました。見学申し込みの方は、このあといらっしゃるとのことで、最終的に何名の方がサークルに入会されるか分かりませんが、サークル側には支援につなげ、また、参加者には、学び直しのきっかけを与えることができたのではないかと感じました。

次のページの「飯山満公民館でニ－ハオ！西安風バーガーを作ろう」です。豚肉を長時間煮込み、パン生地をこねて発酵させている間に、中国の言語や文化を紹介する講座でした。講師の説明は丁寧で分かりやすく、参加者からの評価もよかったです。ただ、調理は一品で、試食合わせて3時間の講座だったので、いつもの調理の講座に比べると、少し時間がかかりすぎた気がしました。もう少し工夫すれば時間が短縮され、もっとよい講座になるのではないかと感じました。

次に、「お天気の平井キャスターが教える防災とバス研修」です。必要だと分かっているにもかかわらず集客につながらないのが防災講座です。どうすれば集客できるかを考え、いつもテレビで見ているお天気の平井さんからお話を聞けること、地下神殿と言われる首都圏外郭放水路を見られること、また、アクセス面で訪問を諦めていた方もバスで行かれるということで集客できたと思います。平井さんからは、気象庁が発表する危険度分布「キキクル」というアプリの見方や、災害により変わる避難の仕方、すぐに実践できる防災対策などを教えていただき、「災害レベルの考え方が理解できた」、「情報を正確に判断できるようにしたい」など、よい話を聞くことができたという感想をたくさんいただきました。

また、バス研修のほうは、「前からずっと行ってみたかったので、この機会がうれしかった」、「日本の土木技術の高さを知ることができた」など、外郭放水路についての感動はもちろんですが、知らない方同士なのにバスで隣になったり食事を一緒にすることで参加者同士の交流が図られ、皆さんとても楽しそうにしている、主催者である館側もうれしくなりました。今後の防災研修やバス研修のあり方を考えるヒントになる講座になりました。

ちなみに、前回の計画時にご質問を受けたバス研修の年齢層ですが、30代1名、40代2名、50代6名、60代15名、70代9名、80代4名でした。

次に、「ママだって癒されたい！」です。託児付きの3回講座で、昨年に引き続き2回目です。内容は3回とも昨年と違うものですが、お仕事をされている方が多いのか、3回全部参加できる方が少なかったため、1回でも参加できるよう、募集条件を途中で

変更しました。初めに参加人数の記入をお願いいたします。6月12日は、男0人、女3人の合計3人。6月19日は、男0人、女15人の合計15人です。

「ぐんと可愛くおしゃれに撮れるスマホ写真」では、写真の歪みの改善の仕方、メルカリなどに商品をアップするときや、子供を撮るときのテクニックなどを教わり、ママたちはお隣同士楽しくお話ししながら学んでいました。

「小さな世界に夢が広がる豆本作り」は、講師手作りの消しゴムはんこで押した小さなかわいいスイーツの切り抜きを3.5センチ×2.8センチの紙に貼り付け、本をつくっていくというとても細かい作業でした。参加人数は少なかったのですが、それぞれ個性あるストーリーのかわいい豆本が出来上がりました。

3回目の「おいしく！可愛く！わんこおはぎづくり」は、もち米を炊き、粒あんこを乗せた上に、白あんにほうじ茶、ごまで色づけしたものを絞り袋で絞り、犬の顔をつくりました。講師のレシピどおりつくる方や、おうちの犬の顔をつくる方など様々でしたが、皆さんとてもかわいく出来上がり、お重に並べて持ち帰りました。講師のインスタを見て応募してきた方も何名かおりました。当館では珍しく15名全員が30歳から40歳代で、そのうち公民館を初めて利用した方が6名もいらっしゃいました。新しい利用者層の開拓につなげることができたと思います。

次に、「はさま学びの泉～浮世絵で歴史散歩～」です。コーディネーターさんとの企画で、3回講座です。1、2回は座学で北斎や房総の浮世絵などについてご説明いただきました。

次に、高齢者対象事業です。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。今年度は、当館にしては参加者が多く、よい出足となっております。5月は天気が悪く少なかったのですが、人数が多いまま続いていってくれるとよいと思っております。

次に、「飯山満寿大学」です。5月は、令和9年度開院予定の船橋市医療センター新病院についてのお話を伺いました。今度は全室個室だそうです。6月は、紫式部が過ごした平安の貴族社会、紫式部日記を現代語訳したものについて説明していただきました。6月の参加人数の記載をお願いいたします。男15人、女64人の合計79人でした。

次に、「シルバー男性料理教室」です。地区社会福祉協議会との共催事業で、記載のとおり行いました。6月21日の参加者は、男14人、女0人の合計14人です。

次に、その他事業の「ゆびとま子育てサロン」です。こちらも地区社会福祉協議会と共催で、記載のとおり行いました。

次に、「船橋の神楽上映会」です。こちらは前回の公運審のときに報告しておりますが、市指定無形民俗文化財に指定されている当館近くの飯山満町大宮神社の神楽のDVDを1日上映し、興味のある方に自由に見に来ていただきました。参加されたのは若い方もいらして、「自由参加は参加しやすい」と喜んでいただきました。また、実際にや

っているところを見に行きたいという方もいて、地域の伝統文化を紹介するよい機会になったと思っております。

最後に、「社会教育関係団体研修会」です。43 団体の中 32 団体、40 名の出席でした。こちらでも前回の公運審で報告させていただきましたので、省略させていただきます。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは次に、薬田台公民館さん、お願いいたします。

○薬田台公民館長

薬田台公民館の該当期間の事業を報告いたします。

まず、青少年事業になります。「ハッピーサタデー推進事業」の「走り方教室」になります。応募が 120 名ありました。お子さんと親御さんの両方の関心を集めたようです。事業実施日の翌週に運動会が予定されている学校もあり、子供たちも真剣に楽しく取り組んでいました。また、多くの保護者が熱心に見学をしていました。

「ユニバーサルスポーツを楽しもう」は、3 人 1 チームの対抗戦で楽しみました。簡単な競技なので、幼児から大人まで一緒になって盛り上がり、楽しく交流していました。今回の事業が楽しかったため、事業を運営してくださった団体の主催事業にも親子で参加されたとの事でした。

次に、「学社連携事業 クラブ活動支援事業」になります。今年度 1 回目、2 回目の練習となり、昨年から引き続き太鼓クラブに入った児童が 4 名、初めて太鼓に触る児童が 12 名、定員いっぱいの 16 名で活動しております。

続きまして、「はじめての切り絵教室」になります。こちらでも定員を超えた申し込みとなり、前日までキャンセル待ちの状況の問い合わせを受けました。初めての切り絵で皆さん集中してカッターを動かしていました。細かい作業に苦戦されていた方もいらっしやいましたが、先生の丁寧で分かりやすい説明や、周到に準備された教材のおかげで、初めてとは思えないすてきな作品が仕上がりとなり、とても満足されていました。また、講座が体験だけで終わらないよう、持ち帰りの宿題も入れることで、自宅でもじっくり取り組む機会をつくりました。「またこの講座に参加したい」との声をいただき、家でも引き続きやってみようと思われた方も多く、新たな趣味を広げるきっかけづくりにつながりました。こちらの事業は、50 代の参加も 5 名ありました。

続きまして、「やくえんだい福寿大学」になります。開校式は、「オカリナとギターのコンサート」を行いました。優しいオカリナとギターの音色に癒されるとともに、知っている曲が多く演奏されたため、心躍るコンサートとなりました。みんなで歌う曲目もあり、会場が一体となり「楽しかった」、「あつという間だった」、「アンコールも聴きたかった」などたくさん声をいただきました。しかしながら、曲を聴く場面、みんな

なで歌う場面があったのですが、曲を聴く場面でつい歌ってしまう方がおり、「じっくり聴きたかったのに」というお声もいただきました。

2回目は、「薬円台地区の防災を考える」を実施しました。この日は大雨となり、出席者が少ない状況となりました。それでも、天候を見ながら50名以上の方が集まりました。最近は大雨が多いので、事業実施に当たり天候に悩まされております。多数の高齢者が集まるということもあり、家との往復の安全も考慮した上で講座に参加するかしないか判断してくださいというお願いもしております。今回の講座は、薬円台地区に特化した話も盛り込んだことから、他の地区から来ている方からは、「自分の地域、薬円台周辺の地区の話もしてほしい」、「自分のマンションにも講座に来てほしい」などと感想をいただきました。今回の講座は、危機管理課の職員と地域で活動されている団体さんとの2部構成で行いました。地域のために活動している団体さんを知っていただける機会となったこと、分かりやすいかみ砕いた説明であったことから、とてもよい講座となりました。各地区の地区社会福祉協議会の皆様も見学に来ておりました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。2回目の5月29日には、ヘルスマーケティングを含め行いました。

続きまして、「カンガルーぼっけ」になります。5月13日の「親子で遊ぶ」の実施日にこの日も雨となりました。事業が自由参加のこともあり、0人となりました。ベビーカーで赤ちゃんを連れての来館が難しかったほどの雨になりました。6月10日は、「ベビーマッサージ」を実施し、夫婦での参加が1組ありました。

続きまして、「社会教育関係団体研修会」ですが、社会教育関係団体の望ましいあり方や使用に当たっての注意、活動報告の説明などに加え、10月の文化祭、11月のサークル活動見学・体験会などについて説明を行いました。直接全団体に話しができるため、よい機会と捉えております。

続きまして、「地域緑化支援事業」になります。6月に約20人のボランティアの方と植え付けを行いました。熱中症に気をつけながら薬園台の駅前から、線路脇の花壇に色鮮やかな花で植え付けました。

最後になります。「やくえんだい軽スポーツフェア」になります。参加人数の記載をお願いいたします。200人となりました。6月16日（日）に薬円台小学校の校庭と体育館を使い実施しました。ぎりぎりまで雨が残り心配しましたが、開会までには雨も上がり、暑すぎずよい気候となりました。朝早くからグラウンドゴルフに参加される高齢者の方も集まり、大人、子供合わせて200名の参加がありました。思い思いにスポーツを楽しみ、気に入った種目には何度も並んで挑戦をしていました。地区連絡協議会をはじめ地域の各団体や公民館職員など約25名のスタッフで安全に催し物を実施することができました。

薬円台公民館からは、以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

全公民館さんからご報告をいただきましたが、委員の皆様、ご質問またはご意見がございましたら、挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。加瀬さん、お願いします。

○加瀬委員

まず、習志野台公民館の「おもちゃの病院」で、これは非常に長い事業で、10年以上やられていると思うのですが、修理する方というのは、最初に始めた頃の方はもういらっしやらないかなと思います。教育という言い方は失礼けれども、当然、興味のある方にやっていただいていると思いますが、入れ替わりはどうなっているのですか。

○習志野台公民館長

「おもちゃの病院」さんはホームページを持っていて、ドクターという言い方をしていますが、そこにいろいろな専門家の方が入れ替わりというか、時々新しい方が入り、中で研修というか、そういうことをやりながら替わっていつているのではないかと考えています。あと、やはりそれぞれ専門があるみたいです。

○大塚委員長

私の仲間も1人、もう何十年もやっているけれども、ある程度技術的に覚えて、その仲間に入ったというような話をしていて、自分なりに何かやっていたと。

○加瀬委員

それともう一つ、飯山満公民館で5月22日にバス研修に行かれたと。今、バス代が非常に高いと思うのですが、参加費はおいくらでしたか。

○飯山満公民館長

外郭放水路の入場料と午後のおせんべいの手焼き体験代と、バス代を合わせて6,000円。プラス食事を、皆さん同じもの(1,450円)を食べて、全部で7,000円集めました。

○加瀬委員

今、このバスというのはどこから補助か何か出ているのですか。

○飯山満公民館長

出ていないです。

○加瀬委員

よくできましたね。

○飯山満公民館長

皆さんによく来ていただいた、応募があったと、喜んでおります。

○大塚委員長

大型バスですか。

○飯山満公民館長

大型バスです。

○大塚委員長

50人乗りですか。

○飯山満公民館長

45名乗りだったと思います。

○加瀬委員

バスは1日14~15万円いきますよね。走る距離にもよるけれども、よくできたなと思いました。

○大塚委員長

どこのバスですか。

○飯山満公民館長

東洋バスです。

○加瀬委員

それからもう一つ、薬田台公民館さんの成人事業で、切り絵ですが、「D. 切り絵体験」とあって、このDは何ですか。

○薬田台公民館長

デジタルのDなのですが、デジタル切り絵は講師の造語になります。ただ、デジタルといっても難しい機械ということではなくて、写真などをコピー機で印刷して白黒にし、それを下絵にして、白と黒とで切り分けて切っていく。要は、コピー機などを使い下絵を描かなくても簡単に下絵を作成し切り絵をつくれるということです。

○加瀬委員

そういう切り絵ね。

落語ではないけれども、よく演芸場でやっているものとは違うんですね。ありがとうございます。

○大塚委員長

一つ、今日も、前もそうなのですが、評価で具体的にお話をしてもらおうとすごくよく分かるので、すごくいいなと思いました。評価を書くのはなかなか大変なので、一つ一つの短い中で、3行かそこらであっても、はっきりこちらの「ああ、そうか」という部分があるので、今日は楽しく聞かせていただきました。よかったです。また、ひとつよろしくお願いします。

委員の皆さん、ほかにないですか。お願いします。

○牧野委員

どちらの公民館さんでも子育てサロンですとか、いろいろとお名前が変わってやっていらっしゃいますが、実は、うちの三女が池袋から前原に越してきたときに児童ホームに行き、全く知らない人たちとお友達になれたと。さっきおっしゃっていたように、おしゃべりしてとても楽しそうで、そういう交流の場ができていますというお話がまさ

にそのとおりだったので、とてもよかったと思います。

それで、ひょっとしてマンションの売り出しのとき、モデルルームのところにも、こういうのがありますよと置いたら、新しくよそから来た人がより親しみを持って「なるほど」と思ってもらえるのではないかと思いました。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○大塚委員長

お願いいたします。

○本間委員

全部ですが、青少年のハッピーサタデーのねらいというのは、東部公民館と、飯山満は青少年の居場所づくりを地域ぐるみで推進するという表現が入っていて、これは地域の居場所づくりと考えてやっというのを初めて知りました。

1つ、ちょっと分からなかったのがクラブ活動支援で、私は初めてで、新規事業だと書いてあるけれども、そういうことなんだというのが説明を聞きながらやっと分かったという形です。今、クラブ活動を職員がなかなかできないから、こういう民間の人たちをお願いしているということですね。

○飯山満公民館長

部活動ではなくて授業中の、昔でいう正課クラブというのがありましたよね。月に1回、授業の一環としてやっているクラブ。放課後やっている部活動ではなくて、今は正課クラブという言い方はしないのかもしれませんが、私の頃はそんな言い方で、そこにお手伝いに行く形になります。

○本間委員

ちょっとそこが分からなかったのですが、やはり説明を受けたから、「ああ、そうか」という話です。また、少し名の知れたキャスターみたいな方が来れば参加者が多いというのは、どこでも同じだなという気持ちで読ませていただきました。子供関係だと、児童ホームと一緒に協働でやるから、実行委員をつくったりしてできるところもあるので、そういうのは地域と一緒にやっていくのがいいのかなと思いながら読ませていただきました。ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかの委員の方はいかがでしょうか。

それでは、お声がないので、公民館事業報告（4月1日～6月26日）について、採決をとらせていただきます。それでは、各公民館一括して承認の採決をとることといたしますので、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

○大塚委員長

ありがとうございます。全員挙手いただきましたので、承認されたということで次に移りたいと思います。

それでは、続きまして、次第（２）の「公民館事業計画（６月２７日～９月２５日）について」、東部公民館長さんより順次説明をお願いしたいと思います。委員の皆さんのご意見は、全公民館からご説明を受けてから頂戴いたします。

それでは、東部公民館長さん、お願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館の事業計画についてでございます。

まずは、青少年事業からでございますが、「ハッピーサタデー事業」について、７月と８月の回でございます。７月６日につきましては、「夏まつり（おばけやしき）」ということで、前原児童ホームとの共催で開催するものでございます。夏の風物詩であるおばけやしきということで、このおばけやしきは児童ホームに来館する子供たちがおばけのスタッフとして演じるもので、毎年夏の恒例事業として開催している中で、前原児童ホームと共催で開催する予定でございます。８月の回につきましては、船橋子ども劇場のご協力をいただきながら、「作ってあそぼう」ということで、これはステンドグラスを額にはめ込んで作品をつくるということで、今、事業の打合せを進めているところでございます。

続きまして、「子ども日本語教室」につきましては、６月に１回、７月に４回、９月に３回を予定しているところでございます。

続きまして、成人事業についてでございます。「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましては、報告でもお話しさせていただいたとおり、７月、８月、９月にそれぞれ２回ずつということで、どちらも前原小学校、中野木小学校を毎月１回ずつお借りして実施を予定しているものでございます。

次のページ、「東老協支援事業」といたしまして、老人クラブ連合協議会との共催事業として開催するものでございまして、７月の「ワナゲ大会」、８月の「ダーツ大会」は習志野台公民館の会場をお借りして開催するものでございます。

その他の事業についてでございます。まとめてお話しさせていただきますと、「子育てサロン『アイアイ』」、「子育てサロン『ランラン』」、「子育て支援事業『親子交流講座』」につきましては、繰り返しのことになりますが、リラックスヨガやリトミック、絵本の読み聞かせを通して親子の交流を図るということで、継続して開催するものでございます。

最後の事業は「手話であそぼう！」の講座でございます。共生社会の実現を目標と掲げている公民館事業の中で、今年も去年に引き続き「手話であそぼう！」という講座を開催するものでございます。昨年度と同様、今年度も３回の講座を予定している中で、今回お示しさせていただいているのは９月の講座、これは第１回目でございますが、「ミ

ニ手話講座」ということで開催するものでございます。現在、講師の方と打合せを進めているところでございますが、聴覚障害者協会の方、また、障害者団体の手話サークル空の方々のご協力をいただき、ミニ講演については「聞こえない生活ってどういうことなんだろう」ということをテーマに掲げた中でお話しをいただきます。

また、障害者の方と参加者との交流を図る目的で、「何でもバスケット」のゲームを通して参加者同士の交流を図ります。3回講座ということで、9月に1回、10月に1回、11月に1回ということで、2回目についてはモルックのゲームを通じた事業、3回目については講演会ということで検討を進めているところでございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

次に、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館の令和6年6月27日から9月25日までの事業計画について、ご説明いたします。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」の「夏のお楽しみ会」につきましては、三山児童ホームで行います。的当て、だるま落とし、ヨーヨーなどのコーナーを予定しております。夏まつりの雰囲気を楽しめる内容となっております。また、8月1日の職業研究講座は、毎年度、夏休みに合わせて実施している事業となっております。今年度は、絵本作家・イラストレーターの小倉正巳氏を講師にお迎えしまして、イラストレーターの仕事についてお話しいただいた後、イラストを描くワークショップをしていただく予定となっております。7月27日、9月21日の講座につきましては、記載のとおり実施を予定しております。詳しい内容については調整中となっております。

続きまして、成人に対しての事業でございます。生涯学習コーディネーター協働事業の「三田セミナー 前期」の“船橋・房総そして世界へ”の第3回目は、「浮世絵でめぐる房総・船橋」を実施いたします。千葉県風景を描いた浮世絵を中心にお話しいただく予定となっております。講師が、四街道市史編纂委員長、須藤元夫氏となっております。西図書館に在籍されていたこともある講師ですので、西図書館の宝というものも一緒に紹介していただく予定となっております。

続きまして、「スマホ活用講座『LINE 入門編』」、「古文書の読み方」は記載の日時で実施いたします。

次のページに参りまして、「家庭教育セミナー」は三山小学校PTAと共催で行います。「いのちの授業」を保護者向け、低学年向け、6年生向けの3回で行う予定しております。9月20日、生徒向けとなっておりますが、こちらは低学年向けとなっております。恐れ入りますが、訂正をお願いいたします。3回目は11月を予定しております。

続きまして、高齢者を対象とした事業です。「三田寿大学」、7月11日は記載のとおり実施いたします。市民安全推進課職員と船橋東警察署員をお招きしまして、「防犯講話・交通安全教室」を行う予定であります。9月12日、「中国文化講座 中国ってどんな国？」は、国際交流課に配属の中国の国際交流員を講師にお迎えしまして、中国の文化を紹介していただく予定となっております。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「三田老協支援事業」は記載の日時で実施してまいります。

次のページに参りまして、その他の事業の「防災講座」で記載が抜けてしまっておりますが、生涯学習コーディネーターとの協働事業となっております。講師に船橋S Lネットワークをお呼びいたしまして、2回にわたり実施いたします。夏休み期間中ですので、親子、またご家族でご参加いただいて、地震の際などの体の守り方ですとか、そういったこととお話ししていただく予定となっております。

次に、「土曜卓球開放」は、第1土曜日に開催していく予定となっております。

「おひさまクラブ」は記載のとおり、内容としましては、「親子ピクス」を7月10日、9月11日に、9月24日には「栄養士の講話」ということで、東部保健センターを講師に行う予定となっております。

三田公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございます。

続きまして、習志野台公民館長さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の、記載の9月25日までの事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年事業ですが、「ハッピーサタデー事業」といたしまして、7月は習志野台地区青少年の環境を良くする市民の会による「マリンバとヴィブラフォンのコンサート」で、カラムスさんというユニットに演奏いただく予定でございます。また、8月はアースドクターふなばしによる「夏休みこどもエコ教室」を開催いたします。9月は、千葉県文化財課職員により、土器を使ってしおりをつくる、また、火起こし体験などの企画を予定しております。8月8日のエコ教室は、当初、令和6年度事業計画の4に記載されておりましたが、ハッピーサタデーではありませんでした。8月のハッピーサタデーは本来映画会を予定しておりましたが、児童ホーム等とも調整して日程が合わなかったりしたので、こちらのエコ教室をハッピーサタデーとして開催するように調整した次第でございます。

続きまして、「夏休みこどもポスター教室」は、今年度も夏休みの宿題応援講座として企画して、火、水、木の全3回、連続の日程で開催予定でございます。昨年度、東部の合同事業でもお願いいたしました U-suke さんというイラストレーターの方をお呼び

して、子供たちのポスター作成、また、みんなで発表し合っということで開催予定でございます。

次の「夏休みこども将棋教室」でございますが、今年度は初心者向けで、また、後で説明いたしますが、将棋開放日に合わせて開催いたします。8月9日、23日に、初心者の小学生が対象でございますが、講師の先生から駒の動かし方などを学んで、その後ある将棋開放日に、将棋教室が終わった後に希望する子供たちに参加してもらって、対戦形式で実施していきたいと考えております。

次の成人事業でございます。こちらは今年度の目玉事業で、事業計画シートの番号17でございますが、「習志野台郷土史講座」を開催いたします。全3回の開催でございますが、当館登録の社会教育関係団体、習志野原歴史研究会と共催にて、歴史散策や地域の活動など、一緒に活動してもらえらるガイドボランティアを育成する目的もございまして開催いたします。各講座を通して郷土の歴史に興味を持ってもらって、団体活動にも興味を持って、サークルにも参加していただければいいなと考えておりますが、団体の方とお話をして、最初にあまりにも、団体に参加してください、ガイドボランティアですよ、ということを出し過ぎると人が来ないのではないかという心配をされていたので、郷土史講座として開催し、その中で団体の案内などをしていきながらということで実施予定でございます。次のページにかけてですが、6月29日（土）が1回目で、こちらの講師は記載のとおりでございます。2回目、3回目はそれぞれ2人ずつ講師がおりまして、2～3時間の中で40～50分程度の講演をいただいて開催する予定でございます。また、こちらの定員は30名でございましたが、応募が大変多く、ぎりぎりのラインの40名まで定員を増やして受付をして開催することにして、既に受付は終了しております。

続きまして、「デジタルデバインド対策事業」といたしまして、記載のとおり情報モラル講座を開催いたします。こちらは、小学生などの保護者、また、成人一般を対象として実施します。スマホは使用しないのですが、スマホを安全に使ってもらうためのセキュリティについて学んだり、SNSについて学んだりといった講座として実施予定でございます。

次の「魅力アップ講座（元気で魅力ある70代をおくろう）」でございますが、当初こちらは、その次に記載がありますリカレント教育のほうでと考えておりましたが、講師等との調整の中で、内容的に1つの講座にまとめられなかったため、2つの講座に分けて開催する予定です。「魅力アップ講座（元気で魅力ある70代をおくろう）」は、70代を対象に歩き方、話し方といったものを学ぶ講座として今回設定して、実施していこうと考えております。

また、その次の「リカレント教育」は、先ほどお話ししたものでございますが、メイクアップ講座といたしまして、こちらは対象を40代から50代と考えております。メイ

クの基礎を専門的に学んで、また、コミュニケーション能力の向上を図ったり、他人と上手に接するようなお化粧づくりとか、そうしたことを目的として開催する予定です。こちらの定員が12名と少なめになっておりますが、オリジナルの口紅づくりを2回目に開催したりするために、このような設定にさせていただいております。

次の「家庭教育セミナー」は、習志野台児童ホームとの共催事業として行います。「親子で楽しむ わらべうた」は、わらべうたを楽しむ講座として記載のとおり開催予定でございます。

次のページに移りながらでございますが、高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」は、7月は、今のところ内科医と聞いておりますが、医師による講演を行う予定でございます。内容は東部保健センターさんとも調整中ですが、带状疱疹などの内容になる予定だと聞いております。次の9月は健康講座として、株式会社明治さんからチョコレートについて、食育、健康など、「チョコレートの秘密」ということで学ぶ予定でございます。

次に「ハッピーサロン」は、記載の日程にて開催する予定でございます。

その次の「ふなばしシルバーリハビリ体操」、「習老協支援事業」を記載のとおり開催いたします。先ほど東部公民館でもございました「ワナゲ大会」と「ダーツ大会」を、7月11日、8月16日ということで、習志野台公民館を東老協さんが利用して開催いたしますが、そちらが終わった後で、習老協で同日に「ワナゲ大会」と「ダーツ大会」を開催する日程となっております。

次、ページが替わりまして、その他事業でございますが、第1土曜日に開催を予定しております「おもちゃの病院」、また、第2、第4金曜日開催の「将棋開放」、第3日曜日開催の「卓球開放」と、また、習志野台地区社会福祉協議会との共催事業である「子育てサロン」は、今回は全て室内遊びとなっておりますが、行ってまいります。

習志野台公民館は以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、飯山満公民館さん、お願いします。

○飯山満公民館長

では、該当期間の飯山満公民館の事業計画を説明させていただきます。

青少年対象事業は、先ほどご説明しました「クラブ活動支援」事業の2回目になります。それぞれ社教団体に講師となっていただきます。

次の、「夏休み宿題応援企画 図書館探検と読書感想文教室」も新規事業です。今回は、元中学校国語科教諭で、現在、西図書館職員である先生に講師をお願いしました。きめ細かく、一人一人を最後まで見たいということで、定員は少なくなっています。1回目に飯山満から西図書館に子供たちを連れていき、西図書館の書庫や児童書ゾーンを

案内していただき、その後、感想文を書く本を選びます。そして、2週間で本を読んできてもらい、2回目に公民館で感想文の書き方を学びます。

次の、「夏休み宿題応援企画 理科実験教室」です。千葉県立船橋東高校の理科部にお願いして3年目になります。今回も、高校生が考えた実験を伴った工作を5つのブースにし、小学生に2個ずつ選んでもらいます。それぞれ高校生に教わりながら作品をつくり、家に帰り、製作過程や実験結果を自由研究として仕上げてもらいます。

次に、「夏休み卓球教室」です。目の前にある飯山満中学校卓球部の生徒に地域の小学生が卓球を教えてもらいます。こちらも2年目になります。どちらも近隣の学校と連携し、地域ぐるみで子供の成長を支援するという重点目標に沿ったものになっております。

次に、成人対象事業の「はさま学びの泉～浮世絵で歴史散歩～」です。3回講座の3回目で、本日午前中、職員が行ってまいりました。両国駅周辺の歴史について説明を受けながら、すみだ北斎美術館に入り、常設展と企画展を見学します。企画展はタイムリーで、7月3日発行の新紙幣の千円札の裏面に、北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」が図柄として採用されたそうで、新紙幣採用を記念して北斎の特別展を行っているので、本日それを見に行っております。

次のページに移りまして、「教えて！私のスマホの使い方」も新規事業になります。今まで、ソフトバンクの講座はソフトバンクが貸し出すスマホで講座を実施していましたが、今回のジェイコム講座は参加者のスマホで実施します。公民館の講座もそうですが、この頃、二次元コードを読み取る申込みが増えているので、飯山満公民館のオンライン申請のデモ版を作成し、実際に皆様に読み取ってもらおうと思っております。

次に、「ワクワクする暮らし～食品サンプルを作ろう～」です。こちらも新規事業です。海外でも注目される食品サンプルづくりを通して、日本文化を再考する機会を提供することをねらいとしております。カラフルなパフェをつくります。

次に、「エシカルな暮らし～マイ箸を作ろう！～」です。こちらも新規事業です。講師の肩書きが入っていませんが、江戸指物伝統工芸士の根本様になります。エシカルとは、人や社会、地球環境、地域に配慮した良識的な考え方や取組を行うこと。安くてよいものや、自分にとって得なものを選ぶのではなく、より広い視野で人や社会、地域、環境などに優しいものを購入する消費行動やライフスタイルを指します。世界に一つだけ、自分だけのはしを手づくりすることを通じて、人や社会、環境に優しいものについて考える機会を提供することをねらいとしています。

次に、「体験して感じて！見えないってどういうこと？」です。こちらは新規事業で、飯山満公民館の目玉事業になります。重点目標に掲げました共生社会実現に向けた取組として、アイマスクをつけた白杖・点字ブロック体験を通して、視覚障害者への理解を深めることをねらいとしております。

次の高齢者事業、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載のとおり行います。
次のページの「飯山満寿大学」の7月はピアノコンサート、8月はお休みで、9月は「外国人から見た船橋市」というテーマで、ベトナムの方で船橋でカフェを営んでいる方にお話ししていただきます。外国の文化についてお話ししていただく講座は多いですが、外国からいらした方にとって船橋市はどういうところなのかお話ししていただきます。

次の「シルバー男性料理教室」、「ゆびとま子育てサロン」は記載のとおり行います。
最後に「本館家庭教育セミナー」です。当館の家庭教育セミナーは各学校のPTAと共催ではないのですが、今回は飯山満南小学校のPTAの方にどんなことをしたいか伺ったところ、やはり、宿題で提出できるようなものを親子でできたら集客できるのではないかという意見をいただいたので、親子でケーキの貯金箱づくりをします。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、最後に薬田台公民館長、お願いします。

○薬田台公民館長

薬田台公民館の該当期間の事業計画について、ご説明させていただきます。

まず、青少年事業、「ハッピーサタデー推進事業」です。本館社会教育関係団体による「和太鼓教室」や「夏のお楽しみ会」を行います。夏休みに当たる8月21日には、今年度、目玉事業に挙げました「親子エコクッキング」を実施いたします。チャーシューづくりを予定しております。野菜と肉を一緒に煮込み、その煮込んだ野菜はお米と炊き、炊き込みご飯とします。たれは煮物の味づけやスープなどに使います。事業では全てをつくる時間がないため、一部先生がつくったものの試食をするなどの工程も入れながら、エコクッキングを学びます。皮まで使い生ごみを減らす、保温・余熱クッキング、そして、残さず食べる。エネルギーを大切に使います。

続きまして、こちらも夏休み企画ということで企画いたしました新規事業で、「DIYこども工作教室」です。生涯学習コーディネーターとの企画になります。DIYを通して、手づくりの面白さ、楽しさを体験することで、子供たちの自主性、創造性を養います。こちらは、子供たちが自由にイメージし製作することが主眼なため、親子参加とはしていません。募集の開始当日に定員に達しました。

続きまして、「学社連携事業 クラブ活動支援事業」になります。本クラブには定員いっぱい16名の児童が参加しており、3回目の事業となります。

次に、「やくえんだい楽学講座」になります。7名の企画委員とともに企画・運営している事業になります。例年4回講座ですが、企画のアイデアが多く出たことから、今年は5回講座になりました。こちらの募集も終わっておりまして、定員をはるかに超え

る申込みをいただき抽選になりました。「ご近所さんとのコミュニケーション術」「ハーブを楽しむ生活」「地球温暖化と海洋プラスチックごみ問題に私たちができること」「『紫式部日記』と『小右記』～2つの日記で読み解く大河ドラマの世界～」、最後は「ワールドワイドなチェロ紀行」のコンサートとなりました。5回目のチェロのレクチャー講座は公開講座といたします。様々な分野を学ぶ、欲張り講座となりました。

続きまして、「薬円台ふれあいコンサート」です。やくえんたいコンサート実行委員会で、年2回のコンサートを実施しております。毎年楽しみにされている方が多く、企画委員も、様々な音楽を届けられるように企画に熱が入ります。今回は「ヴァイオリン&ハーブ」のコンサートになります。

続きまして、「スマートフォン講習会」となります。スマホの基本とLINEを学びます。

続きまして、こちらも生涯学習コーディネーターとの共催事業になります。1つ目は「『ごみ』の中に夢がある！」で、環境講座になります。ごみリサイクルの最新事情や船橋市のごみ処理の実態等について学ぶ講座となります。クリーン推進課、資源循環課の職員が講師となります。

2つ目の生涯学習コーディネーターとの共催事業である「多肉植物寄せ植え教室」、その下は新規の「ドライフラワー講座」となります。こちらは、手軽に習え、創作の楽しみやかわいいものに囲まれる楽しみを感じていただき、参加しやすいのではないかと考えました。また、アンケートでも、50代の方から「花に関する講座を実施してほしい」との意見をいただきました。

続きまして、「やくえんたい福寿大学」になります。「船橋の歴史」は毎年アンケートにも挙がり興味のある方が多いこと、また、船橋市を知っていただける機会となることから、毎年テーマを変え、実施しております。令和4年度は「薬円台300年の歴史」、令和5年度は「船橋市の街道」、そして今回は「大神宮を知る」となりました。9月17日の「手話で歌おう♪四季の歌」は、手話サークルさんが講師となります。手話講座の開催についても、アンケートで複数人の方からリクエストをいただいております。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。実施は記載のとおりとなります。参加人数はお天気により大きく左右されますが、体操が認知され、多くの方に毎回来ていただいております。

続きまして、「カンガルーぽっけ」になります。子供に多い事故のお話や、親子の防災について、親子遊び、工作等を実施いたします。

最後に、「地域緑化支援事業」になります。6月8日に夏の花を植え付けました。駅前が華やかになり、そちらの花壇の管理等を行ってまいります。

薬円台公民館からは以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。全公民館さんから、事業計画（6月27日から9月25日）

についてご説明いただきました。委員の皆様からご質問、またご意見がございましたら、挙手していただいて、公民館さんのほうにお話をさせていただければありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

○今井委員

子供向けの夏休みを活用した事業が大変多くて、ありがたいなと思って拝見させていただきました。特に、お盆前ぐらいまでに大体終わっていて、お盆の頃にやって学校に来るときに提出してもらえるような自由研究があるのかなと見せていただきました。いろいろ考えてくださって本当にありがたいです。

あと、日本語指導もやられているということで、今、学校に日本語が全然お話しできないまま転入してくるお子さんが多いです。うちも中国のお子さんが去年3人、今年4月頭にネパールから2人在籍しておりますが、早く日本の文化に慣れてほしいなというところです。日本語指導は、教育委員会の指導課ともタイアップしていますが、こうやっていろいろなところでそういう活動をしていただけるのは、本当にありがたいと思いました。今後ともよろしくお願いします。

○大塚委員長

よろしいですか。

ほかに、委員の皆さん、いかがでしょうか。

○本間委員

習志野台公民館ですが、夏休みだから子供が対象のものがいっぱいあります。「夏休みこどもポスター教室」は3回連続ですけれども、これは3回出ないといけないんですか。

○習志野台公民館長

はい。同じ子が3回来て。

○本間委員

3日間で1個ができる。

○習志野台公民館長

そうです。3日間で1枚ができます。1日でききなり全部は難しいので、下書きから入ったり、題材を探したり。題材は学校であると思いますが、2日目で色塗りをしたり、あとは3回目に、描いただけではということで、みんなで描いた絵を講評し合う。それにこの先生が評価してくれるというものをやっておりますので、それで3回連続になっております。これは全く同じ子が出席します。

○本間委員

飯山満さんもそうですが、図書館で本を選んで、それから感想文を書けるという順番は、すてきだなと思いました。ぜひ参加させたいですが、せっかくいい企画なのになかなかうちの子たちは行かないですね。

○大塚委員長

そうなんですよね。いい企画には、ぜひお子さんを。親御さんにも声をかけていただけるとありがたいですよ。

○本間委員

ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかの委員の方はいらっしゃいませんか。

○蠣崎委員

習志野台公民館さんの「ハッピーサタデー」で、7月20日のコンサートがありますよね。講師が市民の会になっているのですが、これは市民の会さんのどなたかが……。

○習志野台公民館長

市民の会さんをお願いして講師を選んでいただいています。講師というか、やっていただける方を選んでいただいているので、一応、書き方としては、市民の会さんをお願いしているので講師と記載させていただいています。

○蠣崎委員

謝礼とかが発生したときは。

○習志野台公民館長

発生します。市民の会のほうから払われて。

○蠣崎委員

ということは、市民の会が連れてくるということですね。

○習志野台公民館長

そうです。

○蠣崎委員

分かりました。ありがとうございます。

○大塚委員長

あと、委員の方、何かご意見ありますか。

○加瀬委員

ないです。

○大塚委員長

それでは、公民館事業計画について、採決をとらせていただきます。全公民館分、一括して承認の採決をとることといたしますので、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。皆さんからご承認いただきました。各公民館からの公民館

事業計画につきましてはご承認いただきました。

続きまして、次第（3）の「社会教育関係団体の拠点変更について」、飯山満公民館さんより報告をお願いいたします。

○飯山満公民館長

社会教育関係団体の拠点変更届が提出されましたので、ご報告いたします。

社会教育関係団体の拠点変更についての報告について、船橋市情報公開条例第7条の不開示情報を含むことから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開事項であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要項第8条第3号の規定に基づき、記載を省略します。

社会教育関係団体の拠点変更について 報告済

○大塚委員長

最後になって、私のほうからお願いということで、皆さん、館長さん、ご存じだと思いますが、私は毎年、最低1回は公民館さんにお邪魔させていただいております。ただ、今年は私のほうの別の団体が5市が一つになって大きくなって、たまたま私も船橋の場合には代表をやらせていただいて、5市の中で副会長という役をやらされるために、前半がばたばたして調整が取れなかったもので、今後3月までの間に皆さんのところにお邪魔したいと思います。

申し訳ないのですが、今回は公民館さんで3点ぐらいの希望、私が見たいということで、これだったら見たほうが勉強になるよというのを書いて教えていただきたい。1点だと調整がぶつかってしまうといけないので、できれば3点ばかりしていただいて、その中から選ばせていただければ大変ありがたいと思うので、ぜひ、お願いしたいと思います。アドレスは、もし分からなかったら東部公民館さんの館長さんなり、事務局の方にかけていただければ分かりますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

すよね。

○東部公民館長

東部公民館で取りまとめさせていただきます。

○大塚委員長

では、よろしくどうぞお願いします。

○東部公民館長

かしこまりました。

○大塚委員長

それで、私のほうからの議事の進行については終わりましたので、事務局から連絡事項等、何かありましたらお願いいたします。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。次回の審議会の日程のご案内をさせていただきます。9月26日（木曜日）、時間は午後3時から、場所は習志野台公民館の集会室を予定しております。

大塚委員長、事務局からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございます。

それでは、第2回東部公民館運営審議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

午後5時09分閉会

令和 6年 月 日

議事録署名人 _____ 印